

優しい陽射しが 降り注ぐ
長崎が 大好きだ。

でも、考えてほしい。坂道や階段の町に暮らす人々に、長崎は優しくなかったらどうか。そして、今も優しいだろうか。見て見ぬふり、つまり、見放していないか。長崎の発展に貢献してきた人々を大切にしているのか。答えは、否。決して、大切にしていない。つまり、見放している。坂道や階段の町に暮らす人々に優しい町にしよう。

長崎市全体の収入を増やし、本当に市民に優しい町にしよう。市民の負担を減らし、より良い未来のために、新しい人・企業などを長崎に迎え入れよう。

共に活動する仲間を募集中。
仲間になる条件は、「決してあきらめない心」。



たかす
よういち

高須
曜一